2026 年 11 月 4 日

消化器内科の外来診療あるいは入院診療を受けられた患者さんへ

「AI を用いた肝硬変合併症発症予測アルゴリズムの構築」への協力のお願い

消化器内科では、下記のような診療を受けた患者さんの情報を用いた研究を行います。皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

研究の対象：2016 年 4 月 1 日～2026 年 9 月 30 日の間に、当科において慢性肝疾患、肝硬変（代償性・非代償性）と診断され、経過観察を受けられた 18 歳以上の方、および肝硬変または肝細胞がんと診断された方

研究期間：研究機関の長の研究実施許可日～　2031　　年　9　月　30　日

研究目的・利用方法：
肝硬変患者は、発がんやサルコペニアなど複数の合併症が複雑に進行しますが、進行を予測する方法は確立されていません。本研究では、電子カルテに記録された血液検査値、CT/MRI 画像、栄養・運動指導に関する診療記録など、これまでの診療で得られた情報のみを AI（人工知能）技術で解析し、将来の病態変化の予測や、これまでの栄養・運動療法の効果を明らかにすることを目的とします。新たな検査や治療の変更は行いません。

研究に用いる情報の項目：
以下の項目につき、診療録より取得します。これらはいずれも日常診療によって得られた項目です。年齢、性別、肝硬変の原因、罹病期間、Child-Pugh 分類、MELD スコア、ALBI スコア、血液検査値（アルブミン、総ビリルビン、PT-INR、AFP、PIVKA-Ⅱ、血小板数、CRP 等）、CT/MRI 画像から得られる骨格筋量・腹水量・脾腫の程度、合併症の有無・時期（腹水、肝性脳症、食道胃静脈瘤、肝細胞がん、糖尿病、脂質異常症、高血圧）、栄養士による栄養介入記録（BCAA 製剤の使用量、就寝前軽食の実施頻度、エネルギー充足率）、運動指導記録（ストレッチ、筋力トレーニング、バランストレーニング、有酸素運動の実施状況）、経過（サルコペニアの発症・改善、肝細胞がんの発生、非代償化、死亡の有無・時期）

研究に用いる情報の利用を開始する予定日：
2026 年 11 月 6 日

研究への参加辞退をご希望の場合
本研究に関して新たに患者さんに行っていただくことはありませんし、費用もかかりません。本研究の内容や研究結果等について質問等がありましたら以下の連絡先まで問い合

わせください。また、情報が当該研究に用いられることについて了承いただけない場合には研究対象としませんので、以下の連絡先まで申し出ください。なお、本研究は、岐阜大学大学院医学系研究科医学研究等倫理審査委員会において審査、承認され、研究科長・病院長の許可を得ております。また、この研究への参加をお断りになった場合にも、将来にわたって当科における診療・治療において不利益を被ることはありませんので、ご安心ください。

研究から生じる知的財産権の帰属と利益相反

研究者及び岐阜大学に帰属し、研究対象者には生じません。研究の結果および結果の解釈に影響を及ぼすような「起こりえる利益相反」は存在しません。

研究責任者

岐阜大学医学部附属病院　消化器内科
氏名：清水雅仁

連絡先

岐阜大学医学部附属病院　消化器内科
電話番号：058-230-6308
氏名：白上洋平

【苦情窓口】

岐阜大学医学系研究科・医学部　研究支援係
〒501-1194
岐阜県岐阜市柳戸１番１
Tel：058-230-6059
E-mail：rinri@t.gifu-u.ac.jp